

2017年3月2日、東京にあるTKP八重洲カンファレンスセンターを会場として、一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会（NGK）および公益社団法人ゴルフ緑化促進会（GGG）の共催による「**ゴルフ場環境セミナー**」が開催されました。

このセミナーは、テーマ「ゴルフ場の樹木と芝草の健全化」、「ゴルフ場で発生する植物由来バイオマス利用」、「ゴルフと健康に関する最近の知見」について座学を実施することにより、環境と共生するゴルフ場の緑地管理や、健康長寿社会の実現に貢献するゴルフとゴルフ場環境をゴルファーや社会に積極的に情報発信することを目的としたものです。

今回は、「**有機物連用土壌と微生物の働き**」、「**木質バイオマス熱利用の導入ーゴルフ場での課題**」、「**ゴルフが及ぼす健康面のメリット**」についての講義を行いました。

▶開催案内とプログラム



会場の様子



ゴルフ緑化促進会 大西理事長

開会の挨拶では、公益社団法人ゴルフ緑化促進会 理事長・大西久光氏が、

「ゴルフ場の経営環境は厳しい状況にあるが、当会はこれまでゴルファーの緑化協力金をもとに全国で205万本の植樹を行い、近年は被災した海岸林へマツ苗植栽を進めている。本日のセミナーは、これまでの植樹活動から、幅広く環境へ配慮する活動へ目を向けることを意図している」、と述べられました。

最初の講義は、「**有機物連用土壌と微生物の働き**」について、東京農工大学大学院生物システム応用科学府教授・豊田剛己氏よりお話しいただきました。

講義では、「堆肥を連用する土壌では団粒化が促進され、土壌が受ける乾燥・湿潤などの自然ストレスに対して、有機物の連用により耐性が高まること」を力説されました。



東京農工大学 豊田教授



日本木質バイオマスエネルギー協会 川越調査員

次に、「**木質バイオマス熱利用の導入－ゴルフ場での課題**」について、一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会 専門調査員・川越裕之氏からお話しいただきました。

講義では、「木質バイオマスエネルギーの利用方法には、発電、熱利用、熱電併給等があり、ゴルフ場では熱利用が期待できること」や「ゴルフ場における導入事例」、「国の支援策」などを解説いただきました。



静岡理工科大学 富田教授

また、健康長寿社会に貢献するゴルフに関わるテーマとして、「**ゴルフが及ぼす健康面のメリット**」について、静岡理工科大学 教授・富田寿人氏にお話しいただきました。

講義では、「ゴルフは呼吸循環系に適切な運動刺激を与え、消費カロリーを増大させ、メタボリック・シンドロームや生活習慣病の予防・改善に非常に有効である」、と指摘されました。



日本ゴルフ場経営者協会 大石専務理事

最後に、**閉会の挨拶**では、一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会 専務理事・大石順一氏が、

「本日得た知識を、まずは実際に現場で実践することを心掛けていただきたい」、と結ばれました。

今回のセミナーには46名が参加し、約3時間、熱心に聴講されました。

なお、当センターは、本セミナーの企画・運営に協力いたしました。